

社会福祉法人 三徳会

SANTOKUKAI



都市型高齢者福祉施設運営の
パイオニアです。

三徳会は品川区荏原地区で
個性豊かな5つの施設を運営しています。



ここには素敵な笑顔がたくさんあります。



成幸
●特別養護老人ホーム 成幸ホーム
●品川区成幸在宅介護支援センター
●成幸在宅サービスセンター
●ショートステイ

戸越台
●品川区立戸越台特別養護老人ホーム
●品川区戸越台在宅介護支援センター
●品川区立戸越台在宅サービスセンター
●ショートステイ
●品川区杜松在宅介護支援センター

荏原
●品川区立荏原特別養護老人ホーム
●品川区荏原在宅介護支援センター
●品川区立荏原在宅サービスセンター
●ショートステイ
●品川区小山台在宅介護支援センター

小山の家
●品川区立小山在宅サービスセンター
(認知症対応型ティーサービス)
●品川区小山在宅介護支援センター

平塚橋
●品川区立平塚橋特別養護老人ホーム
●ショートステイ
●品川区立平塚橋高齢者多世代交流支援施設
(平塚橋ゆうゆうプラザ)

<http://www.santokukai.com/>

三徳会の各施設では、経験豊富な専門職スタッフと情熱あふれるルーキーの連携によって密度の高い個別ケアを実現しています。



戸越台ホームの屋上庭園にて

三徳会にはあの〈赤ひげ〉先生のDNAが引き継がれている。

人間味あふれる医者として描かれたあの〈赤ひげ〉先生のモデルは三徳会理事長・内野滋雄の父だといわれています。

内野の父は昭和初期から社会奉仕の心と人道的理念をもって地域医療に情熱を注いでいたのです。

●福祉はサイエンスだという考え方の基に…。

その理念を継いだ内野理事長は早くから高齢化社会における高齢者医療・看護・介護・福祉の理想のあり方を考えてきました。医師・解剖学者としての経験、また国内外にわたる広い見聞などから、とかく精神論に流れがちな福祉・介護の理念に対し、福祉は“総合的サイエンスである”と提唱しつづけてきました。例えば、加齢による身体や精神の変化を科学的に理解することが高齢者介護の要であると指摘したのです。

そして“高齢者福祉・介護の理想形を…”と願って三徳会を設立、以来この道をひたすら歩きつづけています。

●高齢者福祉のデザイナーとなれ！

三徳会の三徳とは、正義（正しいことの実行）、友愛（和・協調の精神）、奉仕（損得を超えた奉仕の実践）をいいます。

ケアワーカーの前に難しいテーマが山積して現状、その理念を実践しつつ誰もが満足できる高齢者福祉の実現をめざすためには、科学的裏づけをもつ具体論をきっちりと推し進めていくことが求められます。

今こそ、柔軟な心をもちアクティブでありながら地道な歩みをいとわない若者に、高齢者福祉のグランドデザイン設計の一端が託されているといえます。高い理想と科学的視野を合わせもち、都市型施設である有効性をフルに活かした就業環境で若い力を存分に發揮してください。

*赤ひげ：山本周五郎作の小説。人道的医師の小石川養生所での活躍を描く。後に黒沢明監督・三船敏郎主演により映画化され、広く知られることに。



社会福祉法人 三徳会
理事長

内野滋雄

医学博士
内野医院 院長
東京医科大学名誉教授
(公財)日本篤志献血協会 前理事長
臨床福祉専門学校 名誉校長
(社)日本解剖学会 元理事長

沿革

- 1931 ● 内野医院開設
- 昭和6年 ● 戦災で消失
- 1945 ● 内野医院再建
- 1981 ● 内野医院院長に内野滋雄就任
- 1982 ● 社会福祉法人三徳会設立
 - 特別養護老人ホーム成幸ホーム開設
 - 成幸在宅サービスセンター開設
 - 品川区立中延敬老会館開所
 - 区として初の民間管理運営業務委託を受ける
- 1983 ● ボランティア受け入れ開始
- 1986 ● 第1回／地域交流会
「障害を越えて外へ出よう」
以降毎年開催
- 1988 ● 第1回／生と死を見つめる懇談会
以降毎年開催
- 1991 ● 成幸在宅介護支援センター開設
- 1992 ● 三徳会創立10周年
- 1996 ● 品川区立戸越台複合施設開設
 - ・品川区立戸越台特別養護老人ホーム
 - ・品川区戸越台在宅介護支援センター
 - ・品川区立戸越台在宅サービスセンター
受託運営開始
- 1997 ● 品川区立荏原複合施設開設
 - ・品川区立荏原特別養護老人ホーム
 - ・品川区荏原在宅介護支援センター
 - ・品川区立荏原在宅サービスセンター
受託運営開始
- 1998 ● 品川区立小山在宅サービスセンター
「小山の家」開設・受託運営開始
- 2000 ● 介護保険制度開始
- 2002 ● 三徳会創立20周年
- 2007 ● 成幸ホーム増改築完了
- 2009 ● 品川区戸越台第二在宅介護支援センター
品川区小山在宅介護支援センター
受託運営開始
- 2010 ● 品川区小山台在宅介護支援センター
受託運営開始
- 2012 ● 三徳会創立30周年
- 2014 ● 品川区戸越台第二在宅介護支援
センターの移転に伴い杜松在宅介護
支援センターに名称変更
- 2016 ● 品川区立平塚橋複合施設開設
 - ・品川区立平塚橋特別養護老人ホーム
 - ・品川区立平塚橋高齢者多世代交流支援施設
受託運営開始

●三徳会の施設の立地環境

都市部では稀な総合福祉施設との評価を受けて…。
三徳会ではその有効性を十分に活用。

好立地 連携する施設の利用によりキャリアアップがはかりやすい!
通勤に便利で生活もしやすい!

三徳会の施設は高齢者施策の先進的な品川区の荏原地区に位置しています。5つの施設はそれぞれの特色を保ちながら見事に連携し、スタッフは特養ホームをはじめショートステイ、デイサービスのケアワーカー、ケアマネジャーなど専門性の高い仕事を各施設間を異動しながら経験を重ね、キャリアアップをはかることができます。品川区や東京都主催のさまざまな研修にも参加しやすく、また生活がしやすい地区であることもいうまでもありません。

●独身寮：通勤の便がよい大井町と、戸越台ホーム内に独身寮があります。

地域密着 都市型総合施設での重要ポイントは地域との親密な関係。
さまざまな取り組みで地域とのハッピイな関係を築く。

三徳会の施設は各地域に密接に関わっていき、それぞれの街の風を感じる施設だといわれています。戸越銀座、中延、武蔵小山など近隣の商店街は利用者の皆さんとのまたとない散歩コース。住民の方々の温かい笑顔が迎えてくれます。三徳会では地域の方々とのふれあいを第一に考え、納涼祭や作品展などの地域開放事業を開催。介護者教室や地域交流会など情報発信基地としての役割も担っているのです。



中嶋利奈

成幸ホーム

三徳会の施設は都市部でありながら、どこか懐かしさや温かさを感じる地域にあります。どの施設も主要駅にアクセスが便利で、アフター5は友人と食事や買い物に行ったり、自分の時間を有意義に過ごせることができます。アクセスの良さはご家族の面会にも便利です。利用者の皆さんやご家族にとっても、利便性が良く負担の少ない好立地が何よりの魅力です。



生と死を見つめる懇談会

“生きること”的あり方を幅広くさまざまな視点から見つめようという懇談会を開催しています。多彩な講師を招き、利用者とその家族、地域住民とともに“生きること”について深く考えていこうという場です。

*1988年度より毎年1回開催、下記はその抜粋です

1988● “死を見つめることにより
いかに生きるかを考える” ●海老沢牧師

1991● “舞台で死にたい” ●淡谷のりこ／歌手

1992● “21世紀に向けての新しい福祉への摸索”
～老後をいかによく生きるか～10周年記念講演会
・牧野賢三／品川区高齢者部高齢福祉課長
・清水宗夫／東京医科大学精神神経科教授
・稻垣美穂子／女優、青少年の心を育てる会理事
・蟻塚昌克／日本福祉教育専門学校教務部長
・松根敦子／日本尊厳死協会常任理事

1994● “癌の告知” ●西満正／癌研究会附属病院名誉院長

1996● “私は100歳以上生きる”
・石井傳一郎／品川区社会福祉協議会会长

1999● “救命救急ホットライン” ●小池社介／東京医科大学救急医療センター教授

2002● “人間を語る” 20周年記念文化対談
・三善晃／作曲家、東京文化会館館長
・養老孟司／東京大学名誉教授

2006● “大規模災害によって奪われる命と暮らし”
～災害現場から見えてきたこと～
・上原泰男／東京災害ボランティアネットワーク事務局長

2007● “うつと自殺” ●飯森真喜雄／東京医科大学メンタルヘルス科教授

2008● “よい死を迎えるためのよい生きかた”
・波多野ミキ／日本尊厳死協会副理事長

2009● “激動の時代を生きぬいた女性著名人の生と死”
・中島園江／編集者

2011● “平穏死の提案” ～人生の終わりを自分らしく～
・石飛幸三／芦花ホーム常勤医師

2012● “よく生き、よい死を迎えるために” 30周年記念シンポジウム
・香山リカ／精神科医
・石飛幸三／芦花ホーム常勤医師
・田ノ倉亮爾／宗教家

2013● “在宅ケア（医療）のすすめ”
・鈴木莊一／鈴木内科医院院長

2014● “延命治療と緩和ケア”
・鈴木央／鈴木内科医院副院长

2015● “人生における生と死の意味”
・秋山智久／東京福祉大学教授

2016● “こころの健康からみた～終活～”
・飯森真喜雄／東京医科大学名誉教授

●ボランティアの受け入れ育成も

各施設では積極的にボランティアを受け入れています。最近は熟年の方の参加も増え、皆さんいろいろな場面でいきいきと活動なさっています。また、中学校とひとつ建物のなかにある戸越台ホームでは、近隣の小・中学生が高齢者を理解する学びの場を提供し、ふれあいを通して慈しみの心を育む環境を作りあげています。屋上庭園では高齢者と子ども達が協力しながら草木を育てています。



猪股藤彰

戸越台ホーム

幅広い世代の方にボランティアをしていただき、利用者の日々の生活を支えるうえでなくてはならない大切な存在です。「ボランティア活動は生きがいであり、利用者さんのお役に立つことが何よりうれしいです」との温かいお言葉に、地域とともに施設が歩んでいることを実感します。

●三徳会の運営姿勢――――――――――

第三者評価などの外部評価を積極的にキヤッチ、業務改善・人材育成に活かす。

外部 あらゆる面においてのレベルアップをめざし、

評価 あえて厳しい外部の調査・評価を積極的に受け入れています。

利用者の方々に各施設の正確な情報を提供するための「介護サービス情報の公表」と、自らの評価を外部から入手するための「福祉サービス第三者評価」を積極的に導入しています。各施設ともに高い評価を得ていますが、結果は細かい点まで分析し、今後の施設やシステムの向上をはかる手がかりとしています。

●東京都福祉サービス情報開示

「介護サービス情報の公表」、「福祉サービス第三者評価」は福祉サービス提供事業者の情報の透明性を確保し、利用者が正しい選択ができるようになります。東京都が推進しています。



<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>

三徳会の各施設の情報・第三者評価の結果を閲覧できます

●地域の方にお願いする第三者委員会

福祉施設としての社会性や客觀性を確保するために、高齢者福祉に関心と理解のある地域の方に委員になつていただき、年4回それぞれの施設で「第三者委員会」を開催しています。委員からの意見やアドバイスを真摯に受け止めて苦情解決・サービス向上をはかっています。

自己改善 各施設とともに毎年セルフチェックを実行、各種委員会において厳しい検証を…。
改善 自らを省みて改善点を見い出すために。

品川区に設置されているサービス向上委員会では、利用者の介護や接遇にあたるスタッフが自分を含めた施設全体を自らチェックし見直しを行うことを義務づけています。「セルフチェックシート」を用いて現場のスタッフがチェックした結果を「サービス向上計画」と呼ばれるシートに集計することで現状の課題を的確に把握し、具体的な対応策を考えています。

また、各施設に意見箱・相談窓口を設

置しているほか「利用者懇談会」を毎月1回開催して、利用者の意見・要望を取り入れるように努めています。

問題点は各種委員会やサービス研究会において、ケアワーカー・看護師・機能訓練指導員・管理栄養士・ケアマネジャーなど、各専門スタッフが一丸となって改善策を検討しています。



●おもな委員会など

委員会	・業務改善 ・給食 ・広報 ・安全衛生 ・入浴 ・排泄 ・リネン ・行事 ・感染症対策 ・リスクマネジメント
サービス研究会	サービス研究会で検討した内容の例 ・食事時における吸引方法・感染症対応 ・成年後見制度について ・認知症ケア・危険予知訓練 ・腰痛と腰痛予防体操 ・最新の褥瘡ケアについて ・防火管理体制及び計画について ・トランシスファーにおける介助の基本 ・高齢者の権利擁護 ・看取りケアについて

人材育成 スタッフのレベルアップをはかつて研修・研究発表を奨励。
育成 個々のスキルアップを応援します。

三徳会では、介護福祉士、社会福祉士、ケアマネジャーなどの資格取得をめざすスタッフにできる限りの便宜をはかっています。講座案内などの情報を提供し、受験体験談に基づく勉強会、講習会なども開催しています。

人材育成の観点から1年に平均30回ほど内部研修が計画され、スタッフのさまざまな面においてのレベルアップに努めています。

また、スタッフの自発性・自主性を尊重してスタッフ自身の提言による研修の開催や参加も応援し、平成19年度から実施の海外研修、国内の研修への参加を積極的に呼びかけています。

●おもな施設内研修(5施設合同)

テーマ
感染症勉強会
ストレスマネジメント「混沌からの脱出」
言語聴覚士の役割について
三徳会事例報告会
海外研修報告会・国内研修報告会
ケアマネ受験対策講座
決算勉強会
資格試験受験体験・効果的な勉強法
オムツのあて方・褥瘡対策勉強会
福祉機器の活用について

講師は医師、保健師、大学教授など各分野の専門家に依頼。それぞれの研修は研修報告会を開き、全スタッフが共有できるよう考えています。



成幸

医療施設が併設されている心強さと商店街を側に控えた地域のなかで、 自然な日常生活を送りながらのサービスの提供が何よりの自信です。



施設長:石渡恵美子

■特別養護老人ホーム

定員／80名

居室／4人部屋 16室

2人部屋 5室

個室 6室

■ショートステイ——

定員／16名

居室／4人部屋 3室

2人部屋 1室

個室 2室

■デイサービス——

定員／一般 20名

認知症 10名



成幸ホームは35年近くも前からごく自然に地域に根ざした高齢者福祉を推進しています。駅から徒歩5分、商店街と住宅街の境にあるという地の利を活かして、利用者とともにリハビリや買い物のために地域に出ていくことが自然なことだったからです。地域に根ざす…ということは生活のなかで普通に行われることだと考えています。

平成19年には暮らしやすさはそのままに、一人ひとりが安らげる環境をめざして増改築が行われました。多様な居室がそろい、内野医院が併設されているというメリットを活かしたサービス提供に努めています。

私は人と接することが好きで、介護福祉士になることをめざし、区内の専門学校で学びました。三徳会の施設は実習で来ていたこともあり、就職も迷わず決めました。就職した当初は覚えることが多く、忙しさを感じ不安なこともありましたが、やさしい先輩方に支えてもらい、徐々に仕事に慣れてくるようになりました。

私は利用者の皆さんとのコミュニケーションを大切にしており、ちょっとした時間を使い、一緒にスーパーで買い物をしたり、散歩に出かけています。介護を通して利用者の皆さんから笑顔をもらい、やりがいのある充実した日々を送っています。

荏原

吹き抜けのあるモダンな建物、都内有数の大規模施設で ゆったりとしたサービスとキメ細かな個別ケアをお届けしています。



施設長:鈴木貴文

■特別養護老人ホーム

定員／120名

居室／4人部屋 21室

2人部屋 15室

個室 6室

■ショートステイ——

定員／30名

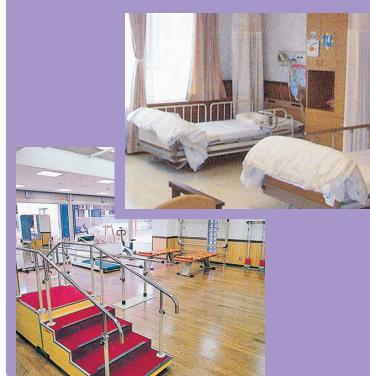
2人部屋 13室

個室 4室

■デイサービス——

定員／一般 40名

認知症 10名



荏原ホームは都内でも有数の規模を誇る大型施設です。ゆったりとしたスペースを活かしたグループケアや、利用者の方々の個別性を重視したキメ細かな介護サービスを提供しています。

利用者の方々には毎日の生活を楽しみながら、ご自宅にいるようにのんびりと過ごしていただけるサービスを心がけています。

経験豊富なベテランのサポートを受けながら最新の設備を利用して、それぞれに特性の違う多くの利用者の方々に接することで、若いスタッフが日々成長していくける環境だと自負しています。

荏原ホームでは、季節ごとにさまざまイベントがあり施設内だけでなく地域の方々とのつながりも多くあります。

施設全体でイベントを作り上げていくためにセクション間の枠を超えて、全職員一丸となって企画・運営を行っています。

また、囲碁や麻雀、創作活動などの多様なレクリエーションを行い、利用者同士の交流も盛んに行われています。利用者の皆さんのがペースに合わせた運動や散歩なども楽しんでいただき、広々とした施設の特長をいかしたサービスの提供を行っています。

そのような日々のなかで、ご利用者の皆さんからたくさんの学びと笑顔をいただき、明るく楽しく働いています。



武井真友

成幸ホーム

ユニークな個性の 5つの施設が 奏でるハーモニー



吉村安奈

戸越台ホーム

それぞれの施設での経験と
緊密なネットワークの
利点を十分に活かして…。

三徳会の施設はすべて品川区の荏原地区内にあり、そのどれもが商店街と住宅街がほどよく交わる地域で
緊密なネットワークを張っています。多世代交流施設・学校などが併設されている施設もあって、地域とのふ
れあい・結びつきは自然な交流のなかから芽ぶき育まれています。この有機的なネットワークの広がりはスタ
ッフの能力や生活状況に合わせた職場を選び、キャリアアップをめざして5ヵ所の施設のいずれかへ異動す
ることも可能です。三徳会の有機的につながるネットワークはこれからも大きくひろがりつづけます。



木内真澄

荏原ショートステイ

小山の家

“居心地のいい場所づくり”を考えた
認知症専門デイサービス。



センター長: 宇賀神 努

■デイサービス

定員／認知症 10名



小山の家は閑静な住宅街にある定員10名の家庭的な雰囲気のこぢんまりとした施設です。
利用者お一人ひとりの“できること” “なじみのこと”を尊重して“頼りにする” “教えて
いただく”という姿勢で接し、より“居心地のいい場所づくり”をめざしています。みなさんいき
いきと、そして、ゆったりと過ごされていますので、初めて訪れた方は他のデイサービスとの
違いに驚かれることもあります。小山の家を利用するようになって“こんな笑顔見たことが
なかった”とご家族やケアマネジャーから嬉しいお言葉をいただくこともたびたびです。



本間裕也

平塚橋ホーム

中学校と併設というユニークな環境を活かして 教育と福祉を有機的に結びつけた地域社会密着型の施設です。

戸越台

高校の先生に勧められて専門学校に入学するまで介護についての知識や経験はなく、すべてが新鮮でした。

三徳会は実習やアルバイト、ボランティアなどで何度も訪れており、利用者と職員が笑顔で楽しそうに話している姿が特に印象的でした。自然と、私もこんなふうに利用者の笑顔をひきだせるようになりたいとの思いが強まり、就職先を決めるときは迷いがありませんでした。

入職してから毎日笑顔に囲まれて働いています。これからも笑顔の絶えない施設でいられるよう、仲間と共に成長していきたいと思います。

平成8年5月、高齢者福祉施設と中学校との併設という画期的な環境を生み出した複合施設が誕生しました。建物の5~10階および屋上が戸越台特別養護老人ホームです。その特色を生かして中学生のボランティア受け入れをはじめとした地域社会との交流活動を推進してきました。そしていまでは「世代間交流」「地域力」をキーワードに中学校や地域の方々との心温まる強い絆が生まれています。安心して暮らせる地域の実現と、“その人らしさ”的支援を大切にしています。このユニークで素敵な環境で可能性を存分に発揮し、新たな高齢者福祉にチャレンジしましょう。



施設長: 山口由美子

■特別養護老人ホーム
定員／72名
居室／4人部屋 13室
2人部屋 10室
■ショートステイ
定員／8名
4人部屋 2室
■デイサービス
定員／一般 30名
認知症 10名

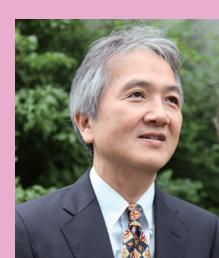


人と地域をつなぎ多世代の交流を育むコミュニティ施設を併設、 やすらぎのユニットケアでそれぞれのおもいを暮らしに映します。

平塚橋

福島県の専門学校を卒業して、三徳会に就職しました。新しい環境や初めての仕事に不安や心配がありましたが、同期や先輩の方々と協力したり、アドバイスをもらいながら、楽しく仕事をすることができます。平塚橋ホームはユニットケアを行っています。ユニットケアでは利用者の方々に合った生活をめざしています。一人ひとりの生活を把握することは大変ですが、1ユニット10人なので、1日の勤務で皆さんと接することで、わずかな変化に気づくことができます。より深い理解をめざし、「よりそう」ケアに取り組んでいきたいと思います。

平成28年5月に開設した平塚橋ホームは全室個室ユニット型です。利用者へのサービスにあたり、「ここから」「くらす」「よりそう」「つながる」の4つのコンセプトを考えました。平塚橋ホームに入居することで、ここから新たな暮らし始まります。暮らしは一人ひとりのペースや考えを大切にしています。利用者の暮らしに職員が寄り添い、生活を支えていきたいと考えています。また同じユニットの方同士の交流、つながりを援助することも職員の大切な役割です。1階の「平塚橋ゆうゆうプラザ」でも、子どもから高齢者まで幅広くつながりをめざしています。



施設長: 富岡 豊

■特別養護老人ホーム
定員／100名
居室／全室個室
■ショートステイ
定員／12名
居室／全室個室



- 働くスタッフの人生を大切にしたい——三徳会では安心と楽しさ、そして夢のある環境づくりに努めています。

安心してゆったりと楽しく働いていただくための就業環境。

複数の施設を総合的に運営する三徳会ならではの就業環境にご期待ください。
安定性の高い収入、充実した福利厚生など介護の道をめざそうとする若い力をバックアップしていきます。
就業施設の枠を超えたクラブ活動や親睦会なども盛んに行われています。



川島春菜
成幸ホーム



安心できる就業環境で
仕事と育児を両立。

私は出産と育児休暇を終えて介護職に復帰しました。最初は育児との両立ができるか不安でしたが、仕事をすることで気持ちを切り替えられ、やりがいを感じています。三徳会の就業環境や同僚、家族の協力は子どもの成長に欠かせない強い味方です。これからは私も経験を活かし、育児をしている仲間が安心して働けるようサポートしていきたいです。

個々のスタッフの経験と見聞を広げるために 研究発表や施設外研究会への参加を積極的にバックアップ！

三徳会のスタッフは外部の福祉専門職たちと一緒に受ける研修、これまでに経験したことのない環境における実地研修の成果を日々に語ります。

平成26年度より品川介護福祉専門学校で開催されている品川福祉保健従事者実践・研究発表会において、最優秀賞を受賞！



宮崎憲嗣(右)

平塚橋ホーム
サービス課長

鹿野仁美(左)

戸越台ホーム

第1回 品川福祉保健従事者実践・研究発表会 最優秀賞受賞「経鼻栄養から経口栄養摂取への取り組みについて」

介護保険が導入されてから特養利用者の重度化が進んでいます。その中でも嚥下機能の低下による経管栄養への移行は重要な課題になっています。ご利用者やご家族も口から食べられない状態にも関わらず決断を迫られ、胃ろう造設後も誤嚥や嘔吐のリスクを抱えながら生活されます。最近はお元気な時の意向やご家族も迷われる中、看取りを選択し、経管栄養をせずにホームに戻られる方も増えてきました。

その中でご家族と連携を取りながら、職員同士で試行錯誤しながら生活を支えるよう取り組みました。

私たちはご利用者、ご家族がどんな選択をしても、少しでも生活に楽しみを見出すことに力を惜しまず、できる限りの支援をし、これからも自然な営みである口から食べることにこだわっています。

アメリカ、オーストラリア、デンマーク・スウェーデン・ドイツなど社会福祉事情の異なる多彩な国々の視察研究にも参加してスタッフの意欲を高めています。

スウェーデンと日本の福祉を考えた海外研修。

海外視察研修制度を利用して、「スウェーデンの高齢者福祉」を学ぶ研修へ参加しました。現地ではデイサービス、グループホーム、ナーシングホームの3種類を視察し、施設ごとのケアのあり方を知ることができました。感じたことは、日本は福祉先進国と言われているスウェーデンに劣らず、高齢者福祉では高水準のケアを実践しているということです。実際に「行って・見て・聞いて」学ぶ研修は、新たな気づきとともに見聞が広がり、自己の成長にも大切であると実感しました。また、海外で言葉の壁を感じたことで、認知症の方とのコミュニケーションを考えるなど、さまざまな体験は私の大きな糧になっています。



新庄 正

成幸ホーム
サービス課長



働きながら学び資格取得ができる嬉しい職場環境。

新人の初めての資格取得、中堅の上級資格取得そしてパートタイマーへの資格取得のサポートまで、働きながら勉強し受験をめざす人に対して三徳会は理解と協力を惜しまず、力強く応援しています。



坂山美香

成幸ホーム

介護福祉士として経験を積み
スキルアップをめざして挑戦!
皆さんからの支えも心強かったです。

介護福祉士として働き、さらに幅広い知識を習得しようとケアマネージャー試験に挑戦! 仕事をしながらの勉強は何度もくじけそうになりましたが、そんなときは上司や同僚に話を聞いてもらい、気持ちが軽くなりました。外部から招いた講師による受験対策講座でポイントを整理し、わからない部分はその日に解決して勉強を続けました。支えてくれた皆さんに感謝し、合格したときの喜びを胸に、この先も一歩ずつ歩んでいきます。



本城真由美

戸越台在宅介護支援センター

3人の子育てをしながら資格取得にチャレンジ。現在正職員となり新人ケアマネジャーとして働いています。

出産後にヘルパーの資格を取得し、デイサービスに非常勤として勤務。実務経験3年を経て、介護福祉士取得にチャレンジ。さらにスキルアップのため、ケアマネジャー取得にも挑戦。仕事・家事・育児の合間であきらめそうになったこともありましたが、家族の協力や仲間に支えられ見事合格。これを機にケアマネジャーとして、幅広い分野で力になりたいという思いで正職員となり、支援センター配属となりました。現在奮闘中ですが充実した日々を送っています。

*勤務しながらの資格取得者には祝い金を贈ります／介護福祉士:10,000円／ケアマネジャー:20,000円／社会福祉士:30,000円



社会福祉法人 三徳会

〒142-0053 品川区中延1-8-7 TEL/3787-3616(代表) FAX/3783-6580

成幸

- 特別養護老人ホーム 成幸ホーム
 - 品川区成幸在宅介護支援センター
 - 成幸在宅サービスセンター
 - ショートステイ
- TEL/3787-3616 FAX/3783-6580
TEL/3787-7493
TEL/3787-7492
TEL/3787-7482



戸越台

- 品川区立戸越台特別養護老人ホーム
 - 品川区戸越台在宅介護支援センター
 - 品川区立戸越台在宅サービスセンター
 - ショートステイ
- TEL/5750-1054 FAX/5750-1055
TEL/5750-1053
TEL/5750-1052
TEL/5750-1059



杜松

- 品川区立杜松在宅介護支援センター
- TEL/5750-7707 FAX/5750-7709 〒142-0042 品川区豊町4-24-15

荏原

- 品川区立荏原特別養護老人ホーム
 - 品川区荏原在宅介護支援センター
 - 品川区立荏原在宅サービスセンター
 - ショートステイ
- TEL/5750-2941 FAX/5750-3695
TEL/5750-3704
TEL/5750-3708
TEL/5750-3706



小山台

- 品川区立小山台在宅介護支援センター
- TEL/5794-8511 FAX/5794-8512 〒142-0061 品川区小山台1-4-1

小山の家

- 品川区立小山在宅サービスセンター(認知症対応型デイサービス)
 - 品川区小山在宅介護支援センター
- TEL/5749-7251 FAX/5749-7252
TEL/5749-7288 FAX/5498-0646



平塚橋

- 品川区立平塚橋特別養護老人ホーム
 - ショートステイ
 - 品川区立平塚橋高齢者多世代交流支援施設
- TEL/5750-3632 FAX/5750-3642
TEL/6451-3815
TEL/5498-7021



*各施設および三徳会についてのお問い合わせは上記の各連絡先までお願いします。お問い合わせ電話の受付時間は各施設とも平日9:00~17:00(日・祝日は休み)です。 *施設見学をご希望の場合はあらかじめ電話連絡のうえ見学日時等について各施設と事前に打ち合わせをしてください。施設利用者・施設運営の都合上、見学の詳細についてご希望に添えない場合もあります。